

各位

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察技術情報第12号（黄化えそ病）について

平成17年10月第4半旬に行った巡回調査の結果、県中央部の抑制キュウリで黄化えそ病の発生が多く、発病株率も平年より高くなっています（別表）。また、農業振興センターなどからのキュウリ、メロンに関する聞き取り調査でも、全般的に発生は多くはないものの、昨年より発病株率が高いほ場も見られています。

媒介虫であるミナミキイロアザミウマは、県中央部の抑制キュウリでは発生面積は昨年や平年に比べ少なめですが、西部の促成キュウリではかなり多くなっています（別表）。

対策としては、発病株は他株への感染源になりますので早めに除去するとともに、媒介虫であるアザミウマ類の防除を徹底します。アザミウマ類の防除に当たっては感受性低下を防ぐため同一薬剤の連用は避け、栽培終了時にはハウスの蒸し込み処理などを行い保毒アザミウマの密度低減および飛散防止に努めてください。

各ハウスでの早めの発病株の除去など、発生源を減少させることが地域全体のウイルス密度の低下させ、次年度の発生源の減少につながりますので、今から防除対策を徹底してください。

別表：施設キュウリでの黄化えそ病及びミナミキイロアザミウマの発生状況（平成17年10月）

		黄化えそ病(MYSV)			ミナミキイロアザミウマ		
		本年	昨年	平年	本年	昨年	平年
中央部	発生面積(ha)	26.7	20.8	15.1	13.3	62.5	21.2
	寄生株率(%)	0.8	0.3	0.2	0.6	1.8	0.4
西部	発生面積(ha)	2.2	1.9	2.7	8.7	1.9	2.6
	寄生株率(%)	0.3	0.0	0.2	0.7	0.2	1.4

キュウリ栽培面積：中央部120ha、西部26ha

問い合わせ先：
高知県病虫害防除所
担当：西、杉本
TEL 088-863-1132
FAX 088-863-7470